

グループ横断のビッグデータ活用で京急グループが目指す「少子高齢化時代の地域密着型エリア戦略」

京浜急行電鉄株式会社



国内1社の製品群により、シームレスなデータ分析基盤をクラウドで構築

都心～横浜・三浦半島において鉄道事業や不動産、流通など幅広い事業を展開する京急グループでは、グループ横断のシステム基盤としてウイングアーク1stの提供する4つのクラウド製品を採用し、データ蓄積からレポート出力まで一元的かつシームレスに実現する仕組みを構築した。今後は集約したビッグデータをマーケティング戦略や業務改革に活かし、「少子高齢化時代の地域密着型エリア戦略」を進めていく。

Summary

概要



背景・課題

- 有用なデータ資産がグループ全体で共有されておらず、十分活用できていなかった
- グループ各社・社内各部署おのおのでデータを作成していたため、効率が悪かった
- 分析業務が属人的で、人事異動などの影響を受けやすかった。



導入のポイント

- グループ共有で利用できるデータ分析基盤の構築が可能
- 国内1社が提供する製品群により、データ蓄積からレポート出力まで一元的かつシームレスに実現
- シングルサインオンでシームレスにシステムにアクセスできる
- データの可視化が容易なうえ拡張性に富んでおり、スモールスタートが可能



効果

- グループ全体でデータを集約し分析するためのデータ分析基盤が整備できた
- スピーディに分析やレポート作成が可能となり、議論に時間がかけられるようになった
- 地図機能を利用した商圏分析のような高度な分析も各担当者ができる環境となり、業務の標準化ができた



データドリブンマーケティングで目指す 「グループ力を生かした 攻めのエリア戦略」

交通事業に加え、沿線で不動産、レジャー・サービス、流通など幅広い事業を展開する京急グループでは、沿線地域の活性化に向けてグループ各社が持つデータ資産の横断的な活用を目指している。

しかし、多種多様な事業を展開していることもあり、これまでグループ各社・社内各部署がおののデータ分析をおこなっており、膨大な作業量や粒度のばらつきに課題を抱えていた。

この課題に対応するため、京浜急行電鉄株式会社では、グループ横断のデータ活用基盤構築プロジェクトを開始。同社の新規事業企画室は、場所を選ばず誰でも利用できるシステムを目指し、京急グループ統合データシステム「KIDDS (Keikyu group Integrated Data Driven System)」を立ち

京浜急行電鉄株式会社
新規事業企画室
課長 藤峰 裕子 氏

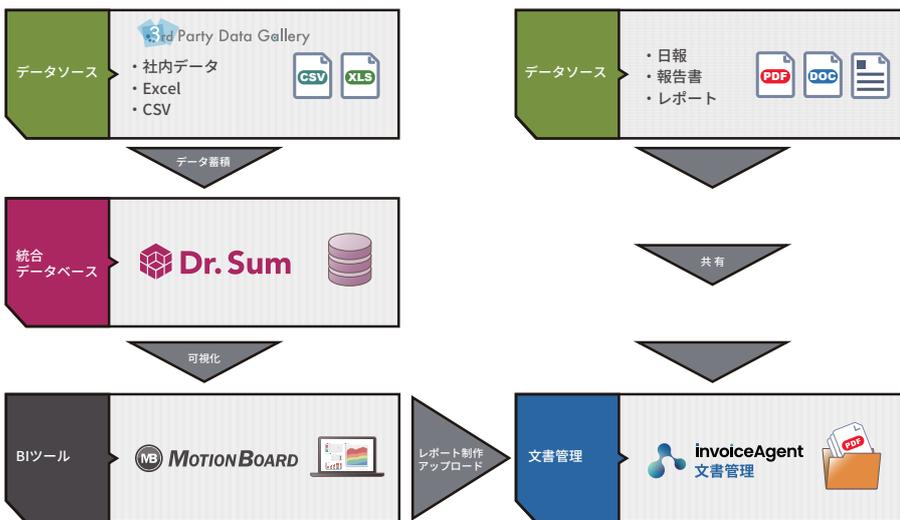


上げた。このKIDDSの実現に採用したのが、ウイングアーク1stのクラウド製品群だ。カスタマイズ性や拡張性を重視する同社において、国内1社が提供するプロダクトで、すべての要件を満たせることが決め手となり、一連の製品を導入。GIS機能を標準で備えるMotionBoard Cloud (以下、MotionBoard)や、MotionBoardでの分析に最適な形式で外部の統計データを調達可能な3rd Party Data Galleryの存在も導入の後押しとなった。また、MotionBoardでは社内外のデータの可視化や分析、レポート活用が可能であることから、これまでの分析作業の効率化

も期待できる。MotionBoardとシームレスに連携できる文書管理ツールinvoiceAgent 文書管理と大量データの高速集計を担うフロントデータベースDr.Sumも実装し、KIDDSを構築した。

今後は、ポイントカードデータの活用や、売上データの集約による管理の効率化を予定している。交通事業では、ビーコンやアプリで取得する移動データやMaaS領域でのビックデータなど、新しい分野でのデータ活用も期待されている。社会環境が激変する中で、データから新たな事業を生み出せるよう、同社ではKIDDSのさらなる活用を目指している。

国内1社の製品群により、グループ横断のデータ分析基盤をクラウドで構築。 データベースからレポートまで、あらゆるデータをシームレスに活用可能。



※2022年6月より「SPA」および「SPA Cloud」は「invoiceAgent 文書管理」「invoiceAgent AI OCR」に名称を変更しました。

KEIKYU 京急グループ

京浜急行電鉄株式会社

設立 : 1948 年
本社所在地 : 神奈川県横浜市
URL : <https://www.keikyu.co.jp/>

東京都・神奈川県を中心に、鉄道・バス・タクシーの交通事業を手掛けるほか、グループ会社と連携して不動産、レジャー・サービス、流通などの事業を展開。都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献することをグループ理念に掲げ、沿線地域の活性化へ積極的に取り組む。

サイト内でより詳しく
ご紹介しております。

<https://www.wingarc.com/product/usecase/208.html>

